



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和63年(1988)5月23日
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
TEL.(06)6244-1008 FAX.(06)6244-1010
WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111
会長 塩尻明夫 幹事 碓田隆康 会報広報委員長 岩崎寿英

四つのテスト／言行はこれに照してから I. 真実かどうか II. みんなに公平か III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1370回 例会 2019年(令和元年)7月22日

本日のプログラム ○ ロ-タリ-ソング 「おおロータリー」 ○ 会長の時間 ◎ 幹事報告 ◎ 委員会報告 ◎ ニコニコ箱報告 ◎ 出席報告 ○ 委員会卓話 国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会・米山奨学委員会・ SAA委員会・クラブ戦略委員会	(本日のプログレス 俣野 富美雄 SAA)
--	-----------------------

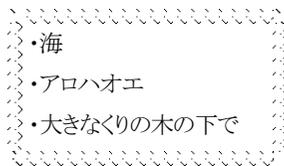
前回(7月8日)例会記録

◇プログレス 俣野 富美雄 SAA

1. 来客紹介 山川 良知 親睦委員長

ゲスト:1名 地区外:0名 地区内:1名 合計:2名

ゲスト:米山奨学生 ゴーチュンタン 君



2. 会長の時間 塩尻 明夫 会長



「献血について」

会長の塩尻でございます。

本日は直前ガバナーの山本様、ようこそお越し頂きました。また米山留学生のゴー・チュン・タン君、こんにちは。

山本直前ガバナーには前年度の地区社会奉仕委員長時代大変お世話になりました。その際、原稿を見ないスピーチについて一度はトライするよう言われておりましたが、本日しっかり原稿を持ってきており申し訳ございません。本年度も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて本日は、献血についてお話したいと思います。

1. 献血とは？

献血とは、病気や怪我で輸血を必要としている人のために、「自発的」に「無償」で血液を提供することを言います。

日本での献血の受入れは、国(厚生労働省)から唯一、採血事業者として許可を受けている日本赤十字社が行っています。この「自発的に」「無償で」という点、実は国際的な定義があります。

1991年の国際赤十字・赤新月社決議によると、「自発的な無償供血とは、供血者が血液、血しょう、その他の血液成分を自らの意思で提供し、かつそれに対して、金銭又は金銭の代替とみなされる物の支払いを受けないことをいう」と決められています。

かつては「売血」「血液銀行」といって、有償で人々から仕入れた血液を輸血用に売る商売がありました。このような事業者に血液を売る人々の多くはいわゆる低所得者で、生活の糧を得るために血液を売らざるを得ない人々でした。

そうなると、本来間隔を置かなければならない売血が頻繁になり、健康を害するようになってしまいました。

このような人からの血液は、輸血に適さない上に肝炎などの副作用を起こすリスクも増大します。

このような問題を受け、政府は昭和39年8月21日、献血に関する体制整備(日本赤十字社または地方公共団体によるもの)を閣議決定しました。その後売血はほぼなくなり、現在のような体制が続いています。

2. 献血を受けるには

①会場を探す

まず、各所に設けられている献血ルームや、イベント会場などにやってくる献血バスを探しましょう。日本赤十字のWEBページから、各地での献血会場を検索することができます。もちろんロータリアンなら、あとで説明します地区献血会場がお勧めです。どの会場でも、後述の献血カードがあれば献血者の情報は記録されていますし、安全・衛生面において全く問題がありません。便利な場所、時間で気軽に行ける場所を選んでください。

②申し込む

献血カードをお持ちでない方は、会場の窓口で作ってもらいましょう。献血は前回との間隔や年齢等さまざまな制約があり、個人ごと個別に管理する必要があるため、このカードがなければ献血できません。この申請の際には氏名、生年月日、原則として写真付きの身分証明の提示が必要です。

なお残念ながら、年齢制限や特定の薬の服用、予防接種を受けた場合、海外から帰国後4週間以内の場合や特定期間内に特定国(イギリスなど)に滞在していた場合など、「献血ができない」一定の制約があります。献血カードを提示後いくつか質問を受けますので、これらには正直に答えましょう。

③献血する

カードが作成できたら、献血ルームに入ります。しかし、ここでいきなり献血するのではなく、医師の問診、血圧、血液検査、シーフテスト(肩・腕・手の状態が悪くないか自己検査)などの簡単なチェックを受ける必要があります。

これらの検査が終わった後は、ようやく献血開始です。

少し背中を起こしたようなベッドにリラックスして横になり、献血用の針を腕に刺して血液を提供します。

血管の太さや体の大きさなどによって異なりますが、400mlの献血で10～15分程度、成分献血と呼ばれる、血液から必要な成分だけを抽出して元に戻す献血の場合には40～1時間半程度かかります。私の場合は適しているのか、10分かかることが多いです。

その間、担当するスタッフや看護師さんからは、しつこいくらい「大丈夫ですか」「水分採って下さい」と言われます。これは、血液の減少による体調不良を防止するためです。実際、献血後くらくらしで倒れる方もおられるようです。これに対し、献血を始める前から何本かの飲料を持っておき(会場には大量に飲料が置いてあるのでいくらでももらえます)、献血中から少し多い目なくらい飲んでおくと、このような体調不良をほとんどなくすることが可能です。

④ 献血できない場合

- ・体調のすぐれない方
- ・この3日間に出血を伴う歯科治療(歯石除去を含む)を受けられた方
- ・海外から帰国(入国)して4週間以内の方
- ・1980年～1996年の間に、英国に通算31日以上滞在された方
- ・24時間以内にインフルエンザなどの予防接種を受けた方
- ・器具を共用してピアスをあけ、6ヶ月間経過しない方
- ・輸血や臓器の移植を受けたことがある方
- ・B型やC型の肝炎ウイルス保有者(キャリア)、エイズ感染の可能性がある方
- ・梅毒などの性病、C型肝炎、マラリアにかかったことがある方
- ・65歳以上の方の献血については、献血いただく方の健康を考慮し、60～64歳の間に献血経験がある方に限る

3. 宗教と輸血

時折、宗教上の理由から、本人や家族により「輸血を拒否」した場合はニュースになります。

我が国は信教の自由(憲法20条)、自己決定権・幸福追求権(同13条)が認められていますが、他方医療機関としては治療上、献血しなければ患者の生命が危険な状況を放置するわけにはいきません。実際、宗教上輸血を拒否する患者に同意なく輸血した医療機関が賠償請求された場合もありました。

このため、現在はほとんどの医療機関が「宗教上の理由により輸血を拒否する患者さんへの基本方針」といったポリシーを定めて公開し、そのような患者さんの理解を得るようにしています。

基本的には「相対的無輸血(患者さんの意思を尊重して可能な限り無輸血治療に努力するが、輸血以外に救命手段がない場合には輸血する)」の立場を採り、「絶対的無輸血(いかなる事態になっても輸血をしない)」は否定する、という内容となっています。

4. ロータリークラブ・ローターアクトクラブの活動

毎年2回行われている地区献血が、2019年7月21日(日)に開催されます。

地区献血は、国際ロータリー第2660地区のローターアクトをはじめとしたロータリーファミリーが力を入れている地区行事の1つです。

場所は次の通りです。イオン大日前② 京橋駅前 ③樟葉駅前 ④梅田HEP前 ⑤難波バス停横(高島屋前)

献血できる方は、是非応援がてら顔を出して献血もしてあげてください。

献血できない方も、是非応援をよろしく願います。

3. 幹事報告

①例年、本日例会で当クラブの活動計画と概況を記述した下記報告書を配布すべきですが、今年は印刷が遅れ、本日の例会に間に合いませんでした。会員の皆様にお詫び申し上げます。

次週15日は海の日で休会ですので、当該計画書のお渡しは、次々週の7月22日になりますことをご了承下さい。宜しく願い致します。

記「2019～2020年度クラブ活動計画書及び概況」

4. 委員会報告

◎ 国際奉仕委員会 澤田 宗久 委員

いつも歯科医療奉仕活動に御支援御理解頂きありがとうございます。

7月10日～19日までバヌアツ・ペンテコスト島において活動を行います。出発に際し、皆様より多大なる御支援頂きありがとうございました。今回の参加者は、日本から8名と、日本からのメディアカメラマン1名、現地Dr2名現地衛生士1名の合計12名で活動します。

本日、八尾市立竹沢小学校から5年生6年生が描いた絵が届きました。

この絵を現地の2校の小学校に行き、ドネーションして、現地の小学生が描いた 絵を持って帰り、出前授業で文化交流をはかります。今回メディアのカメラマンが同行して我々の活動を取材して、日本のTV番組に流す予定です。

我々の地道な活動が、国際ボランティアとして理解されたおかげと思い感謝しています。

これからも皆様宜しくお願い致します。

◎ 親睦委員会 山川 良知 委員長

新入会員歓迎会(吉本力会員)を7月24日(水)18時30分からホテルサンホワイト(谷町四丁目)で開催いたします。

皆様、奮ってご参加ください。

また、8月24日(土)には家族懇親会として神戸港からのクルージングとディナーを企画しています。

こちらも奮ってご参加ください。

5. 米山奨学金授与



塩尻会長より、米山奨学生ゴーチュンタン君に奨学金が授与されました。

6. ニコニコ報告 山川 良知 親睦委員長

大阪南RC 山本 博史 様・・・塩尻会長の1年間の大成功を祈念申し上げます。

片岡 会員・・・本日青少年奉仕委員会の卓話当番です。よろしく申し上げます。

新川、小島、栗原、山川、沖、北野、松永、吉本、塩尻、小山、甚田、井澤、岩崎、清水、宮原、大嶋、岡野、中村、大磯、岡本(茂)、

各会員・・・石川 遼 日本プロ初優勝おめでとう

7. 出席報告 俣野 富美雄 SAA

会員総数 34名 出席率計算会員数 34名 出席会員数 30名 出席率 88%

第1368回(6月24日) 修正出席率 91%

8. 委員会卓話

◎ 青少年奉仕委員会 片岡 清夫 委員長

委員会の方針

国の将来はその国の青年を見れば分かると言われます。青少年に対する教育は国の内外を問わず大変重要だと思います。委員会として少しでもお役に立てる活動を目指してまいります。

計画項目

1. 開平小学校児童の会員企業訪問の継続実施。
2. 大阪YMCA国際専門学校との交流会継続実施。
3. 大阪YMCA生徒さんのインターンシップ(就労体験)の実施。

その他

現在日本では「ダイバーシティ経営」の必要性が言われています。つまりダイバーシティ(diversity)多様性を活かした経営が求められています。ビジネスシーンにおいては、労働人口の減少や様々なニーズに対応するために、高齢者や外国人の雇用を増やす取り組みがとられています。当クラブとして長年お付き合いのある大阪YMCAさんは、生徒さんのほとんどが外国人で占められており、更に交流を深めて青少年教育並びにダイバーシティ経営に貢献できたらと考えます。

◎ 社会奉仕委員会 原山 歩 委員長

今年度社会奉仕委員長を拝命いたしました原山です。社会奉仕委員会の取り組み内容をご説明いたします。

委員会の方針

1. クラブ創立30周年の節目を終えたところで、クラブのこれからの社会奉仕のあり方をあらためて全会員で話し合い共有していく。
2. 奉仕部門(職業、青少年、国際)や戦略委員会、会報広報委員会と連携し、良い社会奉仕活動をPRすることで会員増強につなげる

計画項目

1. 船場倶楽部の共同事業に参画する。

(船場地区活性化に伴う「まちの案内板」設置事業

大阪の歴史文化的な中心市街地である船場地区の魅力を伝えていくための案内板設置を計画しています。

この案内板はこの町(船場)を訪れる人々と、この船場地域で暮らす人たちにも分かりやすく親切で、街歩きが楽しくなるように船場の歴史や周辺の歴史的建物などを案内しながら、その価値を知っていただくようにと考えています。

2. 時代の変化に対応しながら船場地域の活性化に向けて各方面に発信していくこと。
3. 社会奉仕の主体は、クラブの行事よりはむしろロータリアン個人にあるとする奉仕の意義や奉仕の仕方を学んでいくこと。

この一年間、精一杯努めますので、どうかご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

◎ 職業奉仕委員会 林 拓 委員長

職業奉仕という概念は「ロータリーの目的」に沿って会員個々の職業を通して社会に奉仕還元していくことと考えています。それには職業上の高い倫理基準を保つということ全ての役立つ仕事は価値があり、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとするのが重要であります。ただ自分の職業を高潔なものと言われても実際にはどのように実践することができるのか、その辺りは職業奉仕フォーラムにてテーブルディスカッションで皆様の意見も交えながら考えていきたいと思ひます。

また職場見学につきましては昨今の会員減少も踏まえてできるだけ経費も軽減しながら行いたいと考へ、移動手段は現在検討中ではありますが当クラブの清水会員が経営されている栄和産業株式会社アグリ事業部のイーザーファームを視察させて頂きたいと思ひます。農業は現在、IT 化や自動化を含め新たな産業改革が必要な産業分野としても注目を浴びており是非皆様と有意義な視察にさせて頂きたいと思ひます。

今期一年間どうぞ皆様、職業奉仕へのご協力を宜しくお願ひ致します。

2019-20年度米山総会及び新規奨学生歓迎会

2019年7月7日(日)17:00～

於:KKRホテル大阪

カウンセラー 岡野 秀章



7月7日(日)に、米山奨学生のゴー・チュン・タン君とともに、KKR ホテル大阪で開催された、米山奨学生関西学友会総会と新規奨学生歓迎会に参加しました。奨学生でなくなったあとでも、元奨学生同士の交流があるのは大変心強いことであり、タン君にとっても学友会の存在を知って、またその活動を見れたのは大変有意義だったと思ひます。

また、会場にはかつて奨学生だった馬さん(現ダイキン勤務)ともお会いできましたし、会報には昨年度まで奨学生だったフレディアント君の記事も掲載されており、今後も、元奨学生の皆さんとの関係を継続していくきっかけになったのではないかと思ひます。

☆次回7月29日(月)例会予定

・委員会卓話:会員増強

・イニシエーションスピーチ:吉本会員

※例会場は7階「フォンタナ」に変更になっております。